



2019年8月21日
株式会社ファンペップ

NEDO 助成事業への採択について

－ IL-23 を標的とした抗体誘導ペプチドの研究開発 －

株式会社ファンペップ（本社：大阪府茨木市、代表取締役社長：平井昭光、以下「当社」という。）は、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という。）の「2019年度研究開発型ベンチャー支援事業／橋渡し研究開発促進による事業化支援」に当社研究開発プロジェクトが採択されましたので、お知らせ致します。

<概要>

助成事業の名称	IL-23 を標的とした抗体誘導ペプチドの研究開発
橋渡し研究機関	大阪大学
助成事業者	株式会社ファンペップ

当社は、大阪大学大学院医学系研究科（臨床遺伝子治療学森下竜一寄附講座教授及び健康発達医学中神啓徳寄附講座教授）との共同研究により、抗体誘導ペプチドの研究開発を行っており、新規抗体誘導ペプチド創製に関する基盤技術を確立しております。

今回の助成対象事業では、橋渡し研究機関である大阪大学と連携して、この基盤技術により、免疫疾患に関連する標的 IL-23 に対する新規抗体誘導ペプチドの探索研究を行い、選定された開発化合物について、前臨床試験開始に向けた原薬及び製剤の製造方法の検討まで実施する予定です。

本助成事業は、橋渡し研究機関と連携して事業開発を行う研究開発型ベンチャーを NEDO が支援するものです。対象期間は、2019年8月19日から2020年3月31日までですが、延長した場合は最大で2021年2月26日までになります。当社は、本助成対象事業の研究開発費用の3分の2に相当する金額を受領する予定です。

本助成事業の詳細は、下記を御参照下さい。

<NEDO「研究開発型ベンチャー支援事業／橋渡し研究開発促進による事業化支援」事業ホームページ>

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100204.html



<参考情報>

抗体誘導ペプチド

抗体誘導ペプチドは、標的分子の働きを阻害する抗体を体内で産生させるようにデザインされたペプチド医薬であり、数カ月に一回の投与で抗体を維持し、持続的な薬効を期待できることが特徴です。また、バイオ製造設備への多額の投資が必要な抗体医薬に比べて、安価な代替技術となることを期待しております。

抗体誘導ペプチドは、感染予防ワクチン等の従来のワクチンと異なり、獲得免疫システムのうち、細胞性免疫（細胞傷害性 T 細胞）を活性化させずに、抗体産生に関連する液性免疫（B 細胞）を選択的に活性化させることが特徴です。これにより、細胞性免疫を活性化することによる副作用（自己免疫反応）を回避し、慢性疾患治療薬として実用化することを目指しています。

当社では、抗体産生を選択的に誘導することから、このペプチドを「抗体誘導ペプチド」と呼んでいます。

<お問い合わせ先>

株式会社ファンペップ 管理部

東京オフィス：東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-8-4 第7 瑞穂ビル 3 階

Tel : 03-5315-4200 Fax : 03-5315-4203

E-mail : info-fpp@funpep.co.jp

以上